



議会だより



CONTENTS

5月臨時議会・6月定例議会の概要	2~4
一般質問	5~9
9人の議員が市政をたどりました。	
常任委員会・分科会審査報告	10~12
議会のしくみ早わかり	13
行政視察・議員研修会の報告	14
議会報告会開催のお知らせ	15
市民の声・議会の主な動き	16

放水開始！ ~わくわく消防広場（横手）~

6月1日から「ゆとりおん大雄」は市の直営に!

5月臨時議会の概要

※5月臨時議会の録画映像は、横手市ホームページの議会のページでご覧いただけます。[市議会トップページ→議会広報→市議会議中継(録画)→平成27年5月臨時会]

5月20日に開催された臨時議会は、市営温泉「ゆとりおん大雄」を指定管理している大雄振興公社の存続にかかわる案件を審査することが中心の議会でした。その内容は、

- 1520万余円の貸付金が回収不能と判断し、放棄する。
- 振興公社の指定管理を解除し、市営温泉「ゆとりおん大雄」を、市直営として運営を継続する。
- 振興公社が所有している原材料(ホップ)などを、1998万円で買収する。
- これまで、当局の説明では、これまでホップ茶などの特産品部門で業績をあげてきたが、平成25年12月に消費者庁から処置命令が出された。
- その後、特産品部門の業績が大きく落ち込み、資金繰りが苦しくなった。
- これまで市として振興公社に、特産品部門の即時閉鎖、撤退、飲料部門の赤字構造の改善、部門別財務管理手法の導入などを提案してきたが、改善ができなかった。
- などの説明がありました。
- 質疑では、議員から
- 議会への説明が遅すぎる。
- 議会との議論がないままに議案が上程された。
- 議会軽視と言わざるを得ない。

等々、当局側の対応、姿勢に疑問を呈する質問が相次ぎました。

また、原材料の販売、在庫管理、振興公社社員の対応、ホップ関連事業への市各部署の関わり方について質問がありました。

本会議は数回中断され、全員協議会等を開催。全議員による自由討議、意見交換など議論を重ねながら進められました。

採決前の討論では、4人の議員が登場しました。4議員とも賛成の立場での討論と断りながらも

- 市の責任を問う。
- 地域住民、議会への説明不足。
- 市民生活と雇用への対応。
- 全職員が当事者意識をもつべき。
- など、市の対応を厳しく批判した討論でした。

採決は、全議員賛成となりましたが、苦渋の選択でした。

(遠藤 忠裕)

- このほかに審議された案件
- 報告案件 15件
- 承認案件 7件
- 条例の一部改正等の議案 2件

新規条例を含むすべての議案を可決

6月定例議会の概要

※6月定例議会の録画映像は、横手市ホームページの議会のページでご覧いただけます。[市議会トップページ→議会広報→市議会議中継(録画)→平成27年6月定例会]

6月定例議会のあらまし

6月の定例議会は、6月8日から24日までの17日間の日程で開催されました。

この議会では、諮問案件1件、報告案件6件、同意案件1件のほか、平成27年度一般会計補正予算や、空家等対策協議会設置条例を制定しよこととする議案など、市長提案の議案22件、陳情2件が上程されました。予算案件と議案、陳情については、3つの常任委員会と一般会計予算特別委員会に付託して審査が行われました。

最終日の本会議では、各委員長から委員会の審査結果の報告(詳細は、

10〜12ページに掲載)を受けた後、議案などの採決が行われました。

採決の結果、市長提案の議案22件を可決。陳情1件を不採択、1件を継続審査としました。

新規の「空家等対策協議会設置条例」案を可決

この条例は、今年5月26日に、空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されたことにより、市の空家対策全般について協議する組織として、空家等対策協議会を設置し、さまざまな検討を行うために必要な事項を定めたものです。

協議会では、空家等に関する市の基本方針・計画の策定、具体的な施策の立案・変更、個別老朽危険空家へ

の対応方針などを検討する予定です。

救急車・除雪車の取得

消防署大森大雄分署に配備する高規格救急自動車1台と、横手・大森・山内・大雄の各地域に配備する除雪車、計4台を取得する議案が可決されました。

人権擁護委員の推薦

9月30日で任期満了となる人権擁護委員の候補者に、織田智恵子氏(増田)を推薦することが決まりました。

固定資産評価委員の選任

固定資産評価委員に、副市長の藤本和宏氏を選任することに同意しました。



賛否一覧表 (平成27年6月定例会)

Table with columns for party names (会派・議員名), bill numbers (案件名), and voting results (賛成, 反対, 賛否不明). Rows include bills 84, 95, and 27-14.

●: 賛成 ○: 反対
●: 採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。

◆ 請願・陳情の審査結果 ◆

陳情2件が審査され、賛否が分かれた左記以外は、次のような結果になりました。(敬称略)

継続審査

「赤坂総合公園に砂入り人工芝テニスコートを早期に建設していただきたい」件に関する陳情書 (横手市テニス協会 代表 針生敬三 ほか6名)

- ① 横手市空家等対策協議会設置条例
② 平成27年度横手市一般会計補正予算(第3号)
③ 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求めるとについて

Q 地方創生と総合戦略策定に向けた取り組みについて

A パブリックコメントの実施を始め、市民の声を十分に取り入れる

土田 百合子 議員



問 若者の新しい発想で、地域の活性化に大きく貢献する「地域おこし協力隊」の導入の考えについて。

答 地域おこし協力隊制度の導入については、地域が求める人材と隊員として活動を希望する方々とのマッチングが重要とされている。今後、地域の受け入れ態勢やサポート体制の構築と併せ、どのような活動を行っていただくか市内の需要を見極めつつ検討をしていく。

問 災害発生時に、スマートフォンや携帯電話に、緊急速報メールを送信できる「防災ナビ」を導入してはどうか。

答 去る2月の冬季防災検証訓練において、NTTドコモと連携し「Lアラート」で発信した避難勧告や避難所開設の情報をスマートフォンで受信し、さらに専用のアプリにより避難所ま



県道横手大森大内線交差点(伏山)

で誘導する実証実験を全国初の試みとして行った。住民だけでなく、土地勘のない観光客や旅行者などに対しても大変有益なシステムであり、よりよい防災情報システムの構築に努める。
問 県道横手大森大内線交差点「伏山信号機設置」について。
答 横手北中学校や横手北小学校の開校に伴い、交通量の増加も見込まれることから、信号機の設置と一方通行について引き続き要望していく。

Q 横手市として、自ら考え自ら行う「地方創生」の姿とは?

A 子育て支援と雇用創出を重点施策に掲げ、若い世代の声も取り入れながら進めていく

奥山 豊和 議員



問 若い世代の就労、結婚、子育ての希望をかなえるため、特に力を入れることは。

答 現在行っている支援事業に加え、総合戦略には、若い世代が持つ将来への希望や、市のあるべき姿という視点を明確にしていく。

問 地方への新しい人の流れをつくり、安定した雇用を生み出すための具体策は。

答 市内事業所の競争力強化、継続的企業誘致、起業の支援に力を入れる。若者が希望を持って就農し、安定的収入を得るための経営モデル構築も進めていく。

問 地方創生事業は、5年で成果を出し道筋をつけるための目標値を示すなど、各自自治体の覚悟が問われている。確かな成果を残すために必要な市役所内部の意思決定の在り方とは。

答 施策の行政評価と予算編成を連動させつつ、市民の意見を反映できるような

厚生常任委員長報告に対し、1名の議員が質疑

議案第93号の権利の放棄について、債権者が多数いる場合の市当局の対応と、債権の一部を放棄するに至った市の責任所在に関し、厚生常任委員会ではどのような質疑があったか質問がありました。

討論の内容は、日本年金機構の個人情報大量流出、不審な電話が相次いだ問題に触れ、マイナンバー制度実施の危険性が明らかであるとし、制度の延期や廃止を国に働きかけることを求め、一般財源は自治体負担すべきでないというものでした。採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

可決した平成27年度一般会計補正予算の主な内容

- スポーツ立市よこて推進事業 723万円の増額
● 低所得高齢者等住まい・生活支援事業 500万円の増額
● 克雪施設管理費 3963万6千円の増額

一般会計補正予算(第3号)に、1名の議員が反対討論

議案第95号の平成27年度一般会計補正予算(第3号)のうち、個人番号制度推進事業、いわゆるマイナンバー制度実施に関する予算について、1名の議員が反対の立場で討論



合併10周年イベント「YOKOTE I believe」。横手市全体が一つになる、新たな第一歩。

問 市民総参加、まちづくりを自分事にしていくことが地方創生の目指す姿であり、成熟した人口減少社会で豊かな生活を送るために必要なことではないか。

答 横手の素晴らしさに誇りを持ち、市民全体の愛によって機運を高め、市が良くなるための協力、住民協働につなげていきたい。

*1 パブリックコメント...行政機関等が命令等(政令、省令など)を制定する際に、事前に案を示し、その案について広く意見や情報を募集するもの
*2 Lアラート...災害情報共有システム
*3 アプリ...特定の用途・目的・業務のために作られたソフトウェア



Q よこてアリーナ構想と財産経営推進計画(FM計画)とのバランスは？
A 既存施設の機能的、地域的バランスを考慮して進めたい

菅原正志議員

問 大雄振興公社への対応について。
答 業績を考えると解散を決定する時期が遅れたのではないかと。また、多大な公金を投入したことに對する結果責任はないのか。

問 資金繰りの悪化は特産品部門の大幅な落ち込みが要因。経営改善の努力を促したが、具体案が示されなかった。市民の皆様には、ゆとりおん大雄を市の直営施設とすることでご理解をいただきたい。現在はホップ関連商品の事業を展開できる民間企業がないか検討している。

問 広域連合第三者委員会の答申に対する市長の所感と今後の職員のメンタルヘルスへの対応について。
答 答申は、納得できる内容であるとは言えないが真摯に受け止める。本年度から再発防止に向けて派遣職員13人と定期的に連絡を取

問 新規に施設建設を計画する場合、既存施設との機能的、地域的バランスを考慮し、できるだけその機能を維持しながら施設全体として総量の圧縮を検討していく。



いきいきと働ける職場を目指します



Q 多機能型体育館の実現性と今後のスケジュールは？
A さまざまな検討をしているが、具体案には至っていない

土田祐輝議員

問 多機能型体育館構想について
答 防災や災害時の後方支援施設として位置付けるのであれば、当然国、県の理解と支援が必要である。これまでの感触と実現の可能性は。また、財源として合併特例債が考えられる。今後のスケジュールはどのようになっているのか。

問 仮称「よこてアリーナ」の建設については、現在、全体構想や事業費、財源など、また、さまざまな支援や制度、方策などについて検討を行っている。合併特例債の期限(平成32年度)

問 学校の設置目的(通学区)や設置者(県・市)が違つこと、さらには、保護者や地域の皆様との話し合いも踏まえ、市では山内中学校のことも相応しい統合先は横手南中学校であると結論づけたことである。

問 第2次学校統合計画の中で、山内中学校を横手南中学校に編入する案が示された。しかし、近場には県立の横手清陵学院中学校があり、県との機能全体の先進地なら、教育現場においても同様の取り組みを期待したい。再検討に値すると思うが。



陸上自衛隊による大規模災害時の集結訓練(グリーンスタジアムよこて)



Q 「ぼんでん」と「鹿島様行事」を日本遺産に認定する取り組みはできないか？
A 現時点では認定要件を満たしていないが模索していく

青山豊議員

問 地域に根差したおまつり。伝統行事の維持と継承について
答 文化庁が認定する日本遺産は地域の認知度の高まりやブランド化に大きく貢献することが期待されている。「ぼんでん」と「鹿島様行事」は現時点では認定要件を満たしていないが、伝統文化の新たな価値付けの方法について模索していく。

問 おまつり・伝統行事を行う、もしくはそれに参加する集落、町内会、自治会に対する支援について伺う。
答 地域の特色ある自主事業に対して、補助金を交付している。今後地域一体となって積極的に取り組む事業に対しては、自主性を

問 地域に根差したおまつり。伝統行事の維持と継承について
答 文化庁が認定する日本遺産は地域の認知度の高まりやブランド化に大きく貢献することが期待されている。「ぼんでん」と「鹿島様行事」は現時点では認定要件を満たしていないが、伝統文化の新たな価値付けの方法について模索していく。



おまつりの継承に行政は何ができるのか



Q 総合戦略策定に地域特有の課題を盛り込むべきと考えるが…
A 検討に値する提案と受け止める

寿松木孝議員

問 横手市の高齢化率は全国平均の25年程先を歩んでおり、国のさまざまな政策や制度が市民の暮らしに合っていない状況が見受けられる。
答 策定期限まで限られた時間の中だが、介護や福祉をはじめ、間口除雪や雪下ろし等さまざまな問題を解決するためにも、各地域のコミュニティを強化する施策など、横手市特有の各課題を解決する施策も総合戦略に盛り込むべきと考える。市長の所見を伺う。

問 策定期限まで限られた時間の中だが、介護や福祉をはじめ、間口除雪や雪下ろし等さまざまな問題を解決するためにも、各地域のコミュニティを強化する施策など、横手市特有の各課題を解決する施策も総合戦略に盛り込むべきと考える。市長の所見を伺う。
答 昨年度全国表彰を受賞した4つの共助組織に代表されるように、横手市民の皆さんは、郷土愛や人とのつながりに優れている。これが当市の財産であり、その認識を共有することによってさまざまな課題の解決の糸口があると思うので、そこを意識した将来設計を考えていく。

問 市長と現状の認識は同じ方向だが、各地域での共助は限界に近づいている。地方創生の指針となる総合戦略や横手市の新たな基本構想に課題解決のための施策を盛り込んでいくべきと思うが。
答 国の制度から簡単に解決できない問題点などに、各自治体が独自の挑戦をしていくことを国が求めているのが、今回の地方創生と考えるので、提案のあったさまざまな施策は検討に値するものと受け止めている。

問 市長と現状の認識は同じ方向だが、各地域での共助は限界に近づいている。地方創生の指針となる総合戦略や横手市の新たな基本構想に課題解決のための施策を盛り込んでいくべきと思うが。
答 国の制度から簡単に解決できない問題点などに、各自治体が独自の挑戦をしていくことを国が求めているのが、今回の地方創生と考えるので、提案のあったさまざまな施策は検討に値するものと受け止めている。



共助組織による雪下ろし



Q 国保法改正による本市への影響は

A 骨格が決定されたが、制度変更はこれからが正念場

齋藤 光司 議員

問 平成30年度から、県が国保の財政運営主体になることが決定されている。今の調整状況と進捗状況、また、市と加入者にとって保険料等々どのような変化が見込まれているのか。
答 5月27日に改正法案が成立し、基本項目が決まった。個別具体的な制度変更はこれからという状況である。
問 県が今の国保制度の中で、財政運営主体になっている2事業、保険財政共同安定化分が7年間で4億5368万円。高額医療費共同事業が昨年度5405万円、市から県内他市町村に流れている状況である。平準化という中で、本市の負担が重くなるのが心配されるが。
答 全県の中では、国保加入者の医療費が少ない地域である。医療費低減・健康に対する取り組みや努力を



健康でみんな笑顔

他の医療費の高い地域に取り入れてもらう働きかけが大事だ。その上で負担の重い市町村と協議をしながら是正を訴えていきたい。
問 平成30年度以降も、法定外繰り入れ、福祉医療等市独自の支援策が継続できるのか。
答 今国会で「禁止する条文はない」との大匠答弁があった。福祉医療の独自支援策についても、制限する項目がなかったのでもうも継続は可能と考えている。また、基金は解消や持ち寄りはない。繰り越しや積立は可能ということである。

Q 3校(十文字第二小、植田小、睦合小)統合こそよい教育環境だ。その検討は

A 保護者や統合検討委員会の意見等踏まえ、4校統合とした

齋藤 勇 議員



●十文字地域小学校の統合について
問 適正規模である十文字第一小をそのまま存続し、十文字地域の他の3校を先に統合してから再統合するなど、段階的な対応は考えられないのか。
答 小学校の保護者等に説明会を開催したところ、出来るだけ早期に4校の統合を求める意見が大多数を占めた。仮に3校を先行統合し、老朽化が著しい十文字小学校を単独校とした場合、4校統合に比べ、財政面で負担がより大きくなる。
問 今まで地域と協力してきたことや行事などが、大規模校になることでなくなったり、地域との関わりが薄くなったりしていくのではないか。
答 統合後も各小学校が行ってきた取り組みを生かした交流を進めていきたいと考えている。統合を機に



築19年の十文字第二小学校

他地区の方々やそれぞれの地区の良さに触れることにより、視野が広がり、コミュニケーション能力の向上や「心の教育」の充実につながる側面もある。
●TPPについて
問 米価暴落の中、TPPが実施されると農家の打撃は大きい。各地で反TPPが起きているが、市長はこれらをどう見るか。
答 政府が交渉のテーブルについている現状にあっては交渉の行方を見守るほかないと考えている。これまでも同様に市の姿勢は変わらず堅持していく。

Q 大型出資のアリーナ建設と、財産縮減のFM計画は矛盾ではないか?

A 文化交流・防災等、多機能型体育館の建設は重要である

立身 万千子 議員



●地方創生について
問 国の意図を、私は「人口20万以下の地域は自治体として認めない」ということだと判断するが、横手市を背負って立つ市長はどう捉えるか。
答 東京一極集中を避け、若い世代の子育てを支援し雇用等、地域課題を実現させる策と捉える。
問 横手市にとって基本となる総合計画と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業が同時進行の形だが、期限を迫られている地域消費喚起・生活支援型交付金は、どう検証しながら進めるか。
答 市の総合計画を根幹に置いて策定していく。プレミアム付き商品券は、市内の多くの事業所に登録してもらおうと呼びかけ、利用者アンケートで検討を加えていく。

進計画(FM計画)は自治体の財政悪化、公共施設の老朽化と人口減少を背景に、地方創生と運動させて弱小自治体の消滅を狙う国の意図があり、公共施設の統廃合・削減を主とするものである。それと「よこてアリーナ」建設構想は矛盾しないかと懸念する。防災や文化交流目的とはいえ、70億円以上を導入し維持していく意義はあるのか。
答 施設を通して、ビジネスチャンスの増、横手の知名度アップ等、さまざまな波及効果を期待しており、前向きなアクションをしっかり検討していく。



プレミアム付き商品券の見本(大規模店、中・小規模店 共通券)



議会だよりをちよっとだけリニューアル

お知りませだより! 議員からの

皆さん、こんにちは! 議会広報委員会顧問のしらとり議員です。

今回の議会だよりをご覧になって「紙面がちょっと変わったな」と思った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

議会広報委員会では、市民の皆さんにもっと興味をもって読んでいただける「議会だより」を目指し、どうしたら見やすくなるだろう、どうしたらわかりやすくなるだろうと、紙面のあり方について検討をしました。

今回から新しくなったところをかいつまんでご紹介しましょう。

その1 文字の書体と行間を変更
目の機能低下がある方に配慮し、文字の書体は、多くの方に見

その2 見出しに工夫を
一般質問や委員会審査報告のページでは、目玉となった内容を見出しで表し、市民の皆さんの興味を引き付ける見出しになるよう工夫することにしました。

FMラジオで議会の活動を紹介

次回7月27日の放送では、議会報告会に出席された市民の皆さんの声をお届けする予定です。ぜひ聞いてね!

横手かまくらFM 77.4メガヘルツ "教えて! 横手市議会" 毎月 第2・4月曜日 午前10時45分~11時00分 ※再放送は翌火曜日 午前7時30分~

厚生 常任委員会



物価上昇等により クリーンプラザよこての建設が 2億6784万円増額

◆「クリーンプラザよこて」建設工事に係る契約金額の変更について

問 労務単価（賃金水準）や公共単価（物価水準）の上昇に伴い、インフレスライドの規定に基づき契約変更をするが、この後も変更はありえるのか？

答 秋田県公共工事設計労務単価比較によると普通作業員で6%、鉄筋、型枠、鷹工員などで9%程単価が上がっている。また、公共単価については、7%〜30%程上昇している。今後も物価上昇は続くと思われることから、急激な上昇があれば再度ということも想定される。制度上は複数回できるという規定になっている。今回のスライド額は2億6784万円である。

◆公立保育所の今後の方向性について

問 公立保育所の民営化が進んでいる。残っている施設は、増田、川西、十文字と山内の地域にあるものだが、少子化等を考慮しながら、将来的に施設を一本化する所とか、既存の施設に移すとか、そういった統合や民営化に対する方向性はどのようになっているのか？

答 基本的に公設の保育所は民営化を目指すという方針を出した。今年度統合を予定している雄物川、大森白山以外の保育所について具体的な検討はこれからになるが、人口動態等も踏まえながら財産経営推進計画との整合性をとって考えていきたい。

◆介護保険事業について

問 制度の変更により国からの財源措置が廃止された要支援事業の継続を心配する声があるが、市としてはどう対応しているのか？

答 今年度は、一般財源を振り替えて事業を継続するが、要介護認定審査をしっかりと受けてもらうなど、介護保険制度の中でサービスの提供ができるように検討していきたい。

◆その他

問 雪おろし雪寄せ支援事業について。

答 支援する人材の確保



来春の本稼働に向けて工事が進む「クリーンプラザよこて」

策を検討する。

問 空き家対策について

答 長期にわたり管理されていない場合は条例の下、立ち入り調査をしながら管理が徹底されるよう所有者に対して連絡等、対応をしていきたい。（高橋 聖悟）

産業建設 常任委員会



大雄ホップ等特産品関連事業で、 在庫処理の進展と 取り組み方法は？

◆財産（大型除雪車）の取得について

問 除雪機械の機種や規格の選定方法は？

答 基本的に全体的な機械の配置を見ながら、地域局の要望に沿って決定している。ただ、グレーダーについては、現在製造されていないことから更新ができない状況にあり、グレーダーをドーザーに切り替えている。今回4台中2台をそのような形に切り替えている。

◆市営温泉施設特別会計補正予算

問 先般直営施設となったゆとりおん大雄についても、他の直営施設と同じように特別会計に職員の人件費を計上すべきだと思うが。

答 現在は地域の施設ということから、地域局が運営業務にあたっているが、本庁の職員も相談窓口としてさまざまな問い合わせに応じている。本庁と地域局の職員がともに業務を進めていくのが本来の姿になっていくのではないかと思う。

◆平成27年度一般会計補正予算

問 若年者等人財育成・地元定着支援事業で対象とする資格にはどのようなものがあるのか？

答 現在申請があるのは、車のけん引免許、中型車両の運転免許、中小企業診断士などである。そのような資格取得に対して、助成を行うものがある。

問 実験農場の中には借地が多い。将来的にどのようなしようと考えているのか？

答 実験農場のほか、よこて農業創生大学事業を展開するにあたって活用を考えている旧大雄中学校や旧阿気小学校の中にも借地がある。財源の問題、また、相手方があることだが、できるだけ買収の方向で検討を続けていきたい。

問 旧大雄振興公社から買収した原材料（ホップ）の在庫処理に進展が見られないようだ。これは営業担当の方だけに任せても難しいと思う。複数の方が積極的に関わるといって姿勢がないと見通しが立たないように思うが、そういう考えは持っているのか？



よこて農業創生大学事業を展開する実験農場（大雄）

答 交渉中の業者と連絡がつきにくい状況にはあるが、その段階がクリアできればその先に進めるし、最終的にトップセールスという手法も考えられる。まずは、担当職員の段階で突破口を開くことが大前提だと思うので、窓口となるまちづくり推進部はじめ、各部署が連携しながら、一生懸命取り組んでいきたいと思う。何とか早く市長の出番を作られたいと思っている。

（加藤 勝義）

※インフレスライド…予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーションまたはデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったときに、契約金額の変更を請求できる措置。



総務文教 常任委員会

旧十文字学校給食センターを 民間に無償貸付け

◆財産の無償貸付け及び減額貸付けについて(旧十文字学校給食センター)

問 旧十文字学校給食センターを貸付けではなく払下げの検討について。

答 事業者の(株)リーディングカンパニーの経営状況を見極め、将来的に譲渡する方向で進めたい。

問 施設の修繕費について、市、借主のどちらが負担するのか。基準はあるのか。

答 建物の根幹部分は市、中の営業活動部分は借主と考えているが、今後ある程度のガイドラインを作っていくきたい。

問 業者選定にあたっての審査基準はどうなっているのか。

答 市の関係部局の職員で構成する選定委員会により、雇用、地域産業の活用、事業収支計画などを点数化して決定した。

◆財産の無償譲渡について(秋田県南旭川水系土地改良区貸付事務所)

問 土地の固定資産税は、誰が負担するのか。

答 土地改良区が土地を所有したため、非課税扱いとなる。

◆財産の取得について(高規格救急自動車一台、2138万4千円)

問 過去に、無線装備等の移設の際、ディーラーが施工し、ノイズなど不具合が発生した例があるが今回は大丈夫か。

答 移設施工は、無線メーカーで行うので問題はない。

◆平成27年度一般会計補正予算
過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の実施内容について。

答 山内三又地区の地域団体・麓友会が「がっこ茶屋」を拠点にグリーンツーリズム開発事業で交流、体験、農産物の販売などを行うもので、全額が補助金で措置される。

問 地方債における「地域総合整備資金貸付金事業債」の中身について。

答 民間事業者の設備投資に貸付する事業で、一定期間の償還猶予を置いた上で最大15年間で償還する無利子の貸付金である。



旧十文字学校給食センターを視察

る。貸付審査は「地域総合整備財団」が行い、民間金融機関が連帯保証する。

問 合併特例債はどのくらい残っているのか。

答 財政計画での発行上限額ベースで約120億円である。
(土田 百子)

またまた登場しました、しらとり議員です！
このページでは「請願・陳情」の出し方についてお話ししていきましょう。



議会のしくみ 早わかり

「請願・陳情」編だよ！

市民の皆さんが市政に関し、意見や要望があるときは、どなたでも議会に請願書や陳情書を提出することができるとだよ。

◆請願と陳情はどっちの？

「請願」は、憲法や法律で定められている国民の権利で、処理の手続きなどが法令によって定められているんだ。請願には、その要望を推進する紹介議員が必要です。

「陳情」は、横手市議会の場合、内容が請願に適合するものについては、請願書の手続きのし方にならって事務を行っているんだよ。

「文書で要望する」ということでは、請願も陳情も同じなの
で、ざっくり言うと、
紹介議員のあるものを
「請願」、ないものを「陳情」と覚えていただければいいでしょうね。

◆どうやって提出するの？

定例会開会2日目(土日・祝日)ときはその翌日(の午後5時までに横手市役所本庁舎6階の議会事務局に提出してください。この期限までに届いたものは、その定例会中に審査されます。もしも締切りを過ぎてしまうと、ごめんなさい。次の定例会まで審査がお待ちになってしまいます。

◆受け付けたものはどうなるの？

担当の委員会で審査された後、本会議で採択・不採択を決めるんだ。請願や陳情を採択すると、議会は、その趣旨の実現を図るよう市に要望しているよ。

◆陳情は、議会で審議しない場合があるって聞いたけど…

議会の審議に馴染まないものは、例外的な取り扱いとして審議を除外する基準(左の「審議除外基準」参照)を設けているんだ。基準に該当するかどうかは、議会運営委員会で協議し、議長が決定します。

詳しくは議会事務局に聞いてね。
☎3212535

◆どんなふうに書けばいいの？

下の書式例を参考に
してね！

【書式例】

平成〇年〇月〇日

横手市議会議長 様

請願(陳情)人 住所
氏名 印

紹介議員(請願書の場合のみ)
氏名 印

〇〇〇に関する請願(陳情)書

【請願(陳情)の趣旨】.....

請願(陳情)事項

(1).....

(2).....

- ### 陳情の審議除外基準
- 係争中のものまたは調停中のもの
 - 建築紛争に関するもの
 - 連絡先が不明確なもの
 - 誹謗中傷、名誉毀損(きそん)、プライバシーを侵害する恐れがあるもの
 - 要望がすでに達成されているものや同一趣旨のもの
 - 市の事務に関係しないもの
 - 審議予定の議案と同一趣旨または相反する趣旨のもの
 - ファクシミリ、電子メール、市外からの郵送により提出されたもの
 - その他、議会の審議に馴染まない議長が判断するもの

議会でのペーパーレス化(紙の削減)に向けた タブレット端末の導入について

各地の議会にて情報通信技術の活用が進んでいることから、4月20〜21日、タブレット端末導入の先進地である、東京都立川市と埼玉県飯能市を訪問しました。

情報伝達に電子メールを用いることでスピード化が図られる他、災害時の安否確認や被災現場の写真を担当課へ直接報告ができるなどの活用方法がありました。

各種会議資料などをインターネット上に保存することで、いつでも最新の情報を手元で得ることができ、各議員の日常活動にも大きなメリットがあります。

実際に、年間10万枚の紙使用を減らすことにつながり大幅な経費削減が図られ、大量にコピーする事務的負担も軽減されています。

情報漏えいには十分に配慮しつつ、ペーパーレス化を急進に進めるのではなく、議会で審査する予算書や議案書等は紙と電子資料を

併用し、双方の良さをうまく生かしながら進めているようでした。

このように、タブレット端末を導入する目的とは、単なる便利さの追及ではありません。これを使うことによっていかにして市民の皆さまに開かれた議会にしていけるか、より距離を縮められるかというポイントをしっかりと踏まえた上で、前向きな議論・検討を進めて参りたいと考えています。

(奥山 豊和)



タブレット端末の操作を体験

ゆとりある社会が未来を拓く

5月8日、前回に引き続き群馬県立女子大学教授の佐々木尚毅先生を議会にお迎えして議員研修会が開催されました。前回の研修の「職場のハラスメントの予防・解決」では、ゆとりのなさが社会にいじめやハラスメントを起させている。とお話を受けて、今回は「男女共同参画と地方消滅」についてお聞きしました。

「男らしさ・女らしさ」を見直して人がらしく生きるにはどういう社会が必要かをもう一度考えよう。少子高齢化を考える時に、生活の時間にゆとりがあるかどうか子どもが産まれる大きな要因になる。田舎暮らしは生活しやすく、私たちは子育てに一番良い環境に住んでいること。「男女共同参画」のスタートは楽しく生きる社会をつくること。

以上のような内容の研修でした。男女はもちろんです、すべ



佐々木教授の講義に耳を傾ける議員

(本間 利博)

「議会報告会・意見交換会」を開催します



横手市議会では、議会だよりやホームページ、横手かまくらFMなどで積極的な議会情報の発信に努めているところですが、「議会が何をしているか見えない」というご意見をいただくことがあります。

そこで、より議事を身近に感じてもらおうと、議会の活動状況や審議内容を、議員が市民のみなさんへ直接報告し、また、市民のみなさんの声をお聞きする「議会報告会・意見交換会」を開催します。今回も地区会議との共催で開催します。

ぜひお近くの報告会にご参加ください。みなさまの貴重なご意見をお待ちしております。



昨年開催された議会報告会
(サンサン横手会場)

(※地区名、会場、開始時間)

横手地域

- 7/21 ☒ 金沢地区【金沢公民館】 午後 7:00～
- 栄地区【さかえ館】 午後 6:00～
- 7/22 ☒ 黒川地区【オアシス館】 午後 7:00～
- 西地区【サンサン横手】 午後 7:00～
- 7/23 ☒ 境町地区【ふるさと館】 午後 6:30～
- 旭地区【旭ふれあい館】 午後 7:00～
- 7/24 ☒ 朝倉地区【あさくら館】 午後 6:30～
- 7/30 ☒ 南・北地区(合同)
【Y²ぶらざ】 午後 7:00～

増田地域

- 7/31 ☒ 増田・亀田・西成瀬・狙半内地区(合同)
【増田地区多目的研修センター】 午後 7:00～

平鹿地域

- 7/24 ☒ 浅舞街部・浅舞北部地区(合同)
【平鹿生涯学習センター】 午後 6:30～
- 7/27 ☒ 醍醐地区【醍醐公民館】 午後 7:00～

雄物川地域

- 7/21 ☒ 里見地区【里見公民館】 午後 6:30～
- 7/24 ☒ 福地地区【福地公民館】 午後 7:00～
- 7/30 ☒ 沼館地区
【雄物川コミュニティセンター】 午後 7:00～

大森地域

- 7/28 ☒ 大森・白山・川西・保呂羽地区(合同)
【大森地域局】 午後 6:00～

十文字地域

- 7/23 ☒ 植田・睦合地区(合同)
【西地区館】 午後 7:00～
- 7/27 ☒ 三重地区【三重公民館】 午後 7:00～

山内地域

- 7/22 ☒ 中央・西地区【山内公民館】 午後 5:00～
- 7/28 ☒ 南地区
【山内学習交流センター】 午後 7:00～
- 7/31 ☒ 北地区
【松川コミュニティセンター】 午後 6:00～

大雄地域

- 7/28 ☒ 阿気・田根森地区(合同)
【大雄地域局】 午後 7:00～

市民の声



元気を発信する 横手に期待!

横手地域
高橋 哲朗さん (68歳)

横手市誕生10周年記念イベントに「民謡を楽しむ会」のメンバーとして2日間参加させていただきました。天候に恵まれ、会場は若い方や子どもたちなど多くの市民で溢れていました(少子高齢化が嘘のよう)。参加した方々は、地元の味に舌鼓を打ちながら、古から伝わる秋田の民謡を堪能されたと思います。

会場では増田と横手の梵天など、市民総参加のイベントが楽しめます。横手にこんな楽しい文化が根付いていることに改めて感動を覚えたのは私だけでしょうか? 2日間だけにするのはもったいない財産が横手にある事。横手の「六魂祭」として各地域で継承出来たら、地方創生の原点がここにあるのではと思います。

元気を発信する手作りのイベントが今後も続くことを期待いたします。

編集後記



この議会だよりを手にして何かを感じて頂けたでしょうか。編集にあたっては、情報をしっかりと伝えながらも気軽に手にしてもらえよう、他の印刷物などを参考に話し合いを重ねながら作業を進めてきました。この号から文字の大きさ、文字数、書体、見出しなど、目にやさしくなるよう変えております。お読みになった感想などお寄せいただければ幸いです。

また、広報活動として議会報告会の案内がこの号に載っています。どこの会場でも参加できますのでお越しく下さい。

(佐々木 喜一)

議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 立身万千子 |
| 副委員長 | 本間 利博 |
| 委員 | 土田百合子 |
| | 加藤 勝義 |
| | 奥山 豊和 |
| | 小野 正伸 |
| | 高橋 和樹 |
| | 佐々木喜一 |
| | 遠藤 忠裕 |

議会の主な動き

平成27年4月～6月

市議会議員は、下記に記載のほかにも各々が所属する委員会等に関する会議や視察、研修などに出席しています。

4月

- 3日 FM議会番組収録
- 6日 FM議会番組収録
- 9日 東北市議会議長会定期総会(～10日)
- 13日 市出資法人に関する特別委員会
- 15日 議会運営委員会、議会改革推進会議、全員協議会懇談会、議員特別研修報告会
- 20日 議会改革推進会議視察(～21日 東京都立川市・埼玉県飯能市)
- 23日 FM議会番組収録
- 24日 市出資法人に関する特別委員会、議会広報委員会
- 28日 総務文教常任委員会協議会

5月

- 1日 産業建設常任委員会協議会、全員協議会、果樹振興議員連盟報告会
- 7日 FM議会番組収録
- 8日 議会改革推進会議、横手市議会議員研修会
- 14日 議会広報委員会、正副委員長会議、議案説明会、議会運営委員会、議会改革推進会議
- 15日 県南地域市議会事務局職員研修会
- 18日 FM議会番組収録
- 20日 市議会5月臨時会、全員協議会
- 22日 FM議会番組収録
- 26日 議会広報委員会

6月

- 3日 厚生常任委員会協議会、総務文教常任委員会協議会、正副委員長会議、議案説明会、行政課題説明会、議会運営委員会
- 4日 FM議会番組収録
- 8日 市議会6月定例会(～24日)、消防議員連盟研修会
- 11日 議会広報委員会
- 15日 議会運営委員会、議会改革推進会議
- 16日 タブレット端末勉強会
- 17日 全国市議会議長会定期総会、全員協議会懇談会
- 19日 市出資法人に関する特別委員会
- 22日 正副委員長会議、議会運営委員会
- 23日 議会広報委員会
- 24日 議会改革推進会議、全員協議会懇談会
- 26日 スポーツ振興議員連盟研修会
- 29日 議会広報委員会